

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	短期インターンシップ	
科目基礎情報							
科目番号	4EG04			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材	企業等受け入れ先で準備された各種資料						
担当教員	越地 尚宏						
到達目標							
1. 企業等での実習体験により、実社会での技術の理解力、表現力、交渉力の重要性を理解できる。 2. 実習を遂行するなかで、社会における人間関係の重要性を理解できる。 3. 企業等での技術活動の経験を、将来の進路設計に役立てることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	実社会での技術の理解力、表現力、交渉力の重要性を理解し、改善する計画を立てることができる。			実社会での技術の理解力、表現力、交渉力の重要性を理解できる。		実社会での技術の理解力の重要性を理解できる。	
評価項目2	社会における人間関係の重要性を理解し、どのような関係が好ましいか考察することができる。			社会における人間関係の重要性を理解できる。		企業における人間関係を説明できる。	
評価項目3	企業等での技術活動の経験から、将来の進路を具体的複数を検討することができる。			企業等での技術活動の経験から、将来の進路を考えることができる。		企業等での技術活動の経験を、将来の進路設計に役立ったと感じることができる。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE G-1 JABEE G-2							
教育方法等							
概要	この科目は実習受け入れ企業等において、受け入れ先から与えられたテーマ・実習計画に従って、夏期休業期間中に行う。実地体験を通して実社会の現場での工業活動を体験し、その成果を報告する。実務経験のある教員による授業科目：この科目は、実務を行っている企業の担当者が、その経験を活かして行う授業である						
授業の進め方・方法	学生自身の興味や将来計画を参考にして実習先を決定する。受け入れ先で準備されたテーマに従って実習に従事する。期間は4日間以上とする。詳細については、別途ホームルームなどで説明を行なう。						
注意点	60点以上を合格とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	受け入れ先で準備されたテーマに添って実験、試験、開発、製造等を体験する。		企業等により設定される。		
		2週	受け入れ先の現場の見学、企業人との交流を行う。		企業等により設定される。		
		3週	インターンシップ報告書の作成。		決められた様式の報告書を作成し、提出することができる。		
		4週	実施後の報告会で発表を行う。		決められた時間内に、分かりやすく成果を報告することができる。		
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前1,前2,前3
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	前1,前2,前3
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	前1,前2,前3
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	前1,前2,前3,前4
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	前1,前2,前3
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	前1,前2,前3
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	前1,前2,前3
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	前1,前2,前3
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	3	前1,前2,前3
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	前1,前2,前3,前4
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	前1,前2,前3

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	70	0	10	100
基礎的能力	0	15	0	50	0	5	70
専門的能力	0	5	0	20	0	5	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0